

ちよっと  
ひといき...

# 茶ぐわくゆんたく

150



## 変わっていく普天間商店街の風景

普天間一帯は戦前、中頭地方事務所や県立農事試験場などの官公庁施設や普天満宮があり、また交通の要所でもあったため、人々が集まり街として発展してきました。

上の写真は1956(昭和31)年頃の普天間商店街の様子です。宜野湾の商業の中心地として多くの買い物客でにぎわいました。商店の背後に写る松は有名な宜野湾並松の名残です。並松の大部分は戦争で



▲普天間商店街と並松 1956(昭和31)年頃 『写真集ぎのわん』より

失われてしまいました。が、わずかに残った松がかつての風景をしのばせます。

下の写真は現在の様子です。商店街の開発や松食い虫被害などにより、戦争を生き延びた松も姿を消してしまいました。瓦屋根の平屋だった商店街もコンクリート造りの建物になりました。野嵩方面に目を向けると、60年前と同じようにイーヌモーの丘があります。が、建物が埋もれて見えづらくなっている所からも街の変化を実感できます。



▲現在の普天間商店街 2016(平成28)年9月撮影

# はくぶつかんの部屋 34

みんなの文化財

宜野湾市の文化財には、国指定の「大山貝塚」や有名な「森の川」などがありますが、実は泉や洞穴や石碑、伝統芸能など無名な文化財が700件以上あり、気付いていないだけで街角や駐車場の隅にありたりします。

博物館では、私たちの先人が築き上げてきた文化財を描かせることで、生徒たちの表現力を養い、文化財や地域に対する愛着を育むことを目的に「ぎのわんの文化財図画作品展」を実施しています。

1990(平成2)年から続くこの展示会は、毎年小中学校の協力もあって今年で25回を数え、これまで様々な文化財を描いていただきました。画材も水彩画から色紙貼りや卵の殻を使った作品などもあり、生徒たちの発想の豊かさにおどろかせられます。応募数も今年は、175点の応募がありました。

今年描かれた作品は「森の川」や「普天満宮」など有名なものから地元にある小さな泉などがあります。博物館ではこれら力作を10月23日まで展示しています。ぜひご覧ください。



平成28年度 第25回「ぎのわんの文化財図画作品展」の受賞作品の審査風景

【問合せ】市立博物館 ☎870-9317

入館料無料となっておりますので、お気軽にご来館ください。